令和４年度　職員募集案内

公益財団法人　埼玉県埋蔵文化財調査事業団

事業団で一緒に働いてみませんか

古くから多くの人々が豊かな生活を営んできたこの埼玉の県土には、先人の生活の足跡を物語る埋蔵文化財が数多く残されています。当事業団では、４０年以上にわたって公共事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を手がけ、その成果を４８０冊有余の調査報告書としてまとめ、歴史文化の一端を明らかにしてきました。また貴重な国民的財産である文化財を保存し、さまざまな活動を通じて、文化財保護思想の啓発と普及を図ってきました。

教科書には載っていない地域の歴史を、私たちと一緒に復元していきませんか。

求める人材
何事にも興味をもって絶えず探究し追求できる人

受験案内

［受験案内の入手方法］
・当事業団のホームページからダウンロードしてください。

［説明会］
オンライン説明会　令和４年８月２日（火）
現地職場説明会　　令和４年８月３日（水）～８月５日（金）

［採用試験］
・受験申し込み　令和４年９月２２日（木）必着
・試験日　一次選考　令和４年１０月２日（日）
　　二次選考　令和４年１０月１６日（日）

詳細は当事業団のホームページを御確認下さい。

問い合わせ先

公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
企画課
〒369-0108
埼玉県熊谷市船木台四丁目４番地１
TEL：0493－39－3955
Mail：soumu@saimaibun.or.jp
H　P：https://www.saimaibun.or.jp

職場案内

調査部調査課

発掘調査

私たちの暮らしを便利で安心・安全にするため、道路建設や河川改修などさまざまな公共事業が行われています。そのために開発される地面の下には、多くの埋蔵文化財が眠っています。そこで、開発事業に伴って発掘調査を行い、記録として保存します。

遺構の精査と遺物の検出

土層断面図の実測

調査課では、埼玉県内各地でさまざまな遺跡を発掘します。調査では遺構の掘削から記録まで多様な作業をします。チームワークが大切な仕事です。

調査部整理課

調査報告書作成

発掘調査で記録された遺構や遺物に関する様々なデータ、そして出土した遺物を整理し、その成果をまとめた調査報告書を刊行します。

出土遺物の接合作業

土器の実測

整理課では、発掘調査を終えた遺跡の整理作業をしています。
それぞれの専門分野を武器に、協力して調査報告書を刊行します。

木製品の保存処理

情報・図書の収集

資料保存課では、出土した遺物のうち、そのままでは朽ちてしまう木製品と金属製品を対象に、専用機器や薬品を用いて保存処理をしています。

資料活用部
資料保存課・資料活用課

文化財の保存と活用

主に木製品や金属製品の保存処理や４０万点を超える出土品や発掘調査の記録類を閲覧できるように整理しています。
また、埋蔵文化財の大切さや私たちの仕事を理解していただくため、遺跡見学会や展示会などを開催しています。

遺跡見学会の実施

集客施設等での企画展の実施

講演会の開催

資料活用課では、出土品のデータベースの作成、発掘調査で作成した図面の台帳記録などを行っています。
また、発掘調査中の遺跡の見学会や報告書を刊行した遺跡をもとにした展示会や講演会などを催しています。
ほかにも、事業団の年間活動を紹介する「年報」や県内各地の文化財を紹介する「埋文さいたま」の刊行、埼玉県からの委託事業である小・中学校への出前授業などを実施しています。

先輩職員からのメッセージ

先輩インタビュー#01

先輩が専門家！
刺激のある毎日を送っています！

採用２年目　調査部整理課職員
古間　果那子　主事

Q1　職員になってよかったことは？

いろいろな時代の遺跡に触れられることです。特に、江戸時代はこれまであまり触れる機会がありませんでしたが、先輩職員から学びつつ、陶磁器や金属製品の整理などをする中で、面白くなってきました。

Q2　今の仕事のやりがいは何ですか？

発掘調査報告書を作ることはもちろんですが、その作成を通して、どういう発掘調査をするべきかわかってきました。

発掘調査や整理作業の方法をもっと勉強して、よりよい成果を残すことができる調査記録方法を考えていきたいです。

Q3　これからどのような職員になりたいですか？

金属製品のプロフェッショナルになりたいです。もともと古墳時代の金銅製品が好きでしたが、仕事で様々な時代の金属製品を扱う中で、突き詰めたいという意識が高まりました。また、X 線撮影装置などの特殊機器を使うことも魅力に感じています。

ある１日のスケジュール

8:30-9:00	・職員打ち合わせ
9:00-9:15	・朝礼
	・作業を補助員へ指示
9:15-12:00	・報告書の編集作業
12:00-13:00	休憩
13:00-16:00	・遺物観察表などの修正
16:00-17:00	・報告書の本文執筆
17:00-17:15	・進行状況を確認
	・日誌記入

先輩インタビュー#02

先人たちの贈り物、
その手で受け取ってみませんか

採用１年目　調査部調査第一課職員
飯塚　真人　主事

Q1　志望動機は何でしょうか？

学生時代から、埼玉県内の遺跡の発掘調査や整理作業に参加していました。一連の作業を通して、太古からさまざまな地域のヒト・モノが交差する埼玉県の地域性に興味を抱き、その本質を探りたいと考え、事業団を志望しました。

Q2　事業団で勤務した感想は？

遺跡の情報を正確に記録し、後世に伝えることが本来の事業目的ですが、それを達成するためには、発掘調査現場の安全管理も重要な課題であると感じています。

現場には、段差などの物理的な障害や、夏場の熱中症など、様々な危険要素が潜んでいます。そうした中で、どのようにすれば補助員の方々に安心・安全に働いていただけるかを常に考えながら、仕事に取り組んでいます。

Q3　これからの抱負、目標は？

事業団の仕事は、発掘調査・整理作業・保存活用の 3 本柱から成り立っています。いずれは、この 3 つの仕事を全てこなせるような職員になれればと考えています。

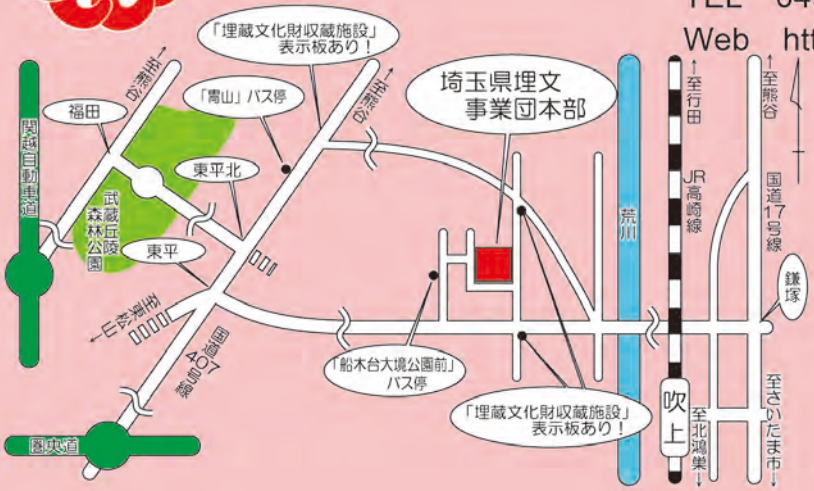
そのために、県内外の文化財担当者と積極的に情報交換を行ったり、ジャンルを問わずさまざまな種類の博物館を訪れたりすることで、自身の「引き出し」を増やしていきたいと思います。

ある１日のスケジュール

8:30～9:00	・一日の作業工程の打ち合わせ
9:15～12:00	・補助員への作業指示
	・遺構断面図・平面図の確認
	・遺構内堆積土層の分層・観察
12：00～13：00	休憩
13：00～16：30	・写真撮影の清掃指示
	・遺構写真撮影
	・遺物の取り上げの指示
	・補助員への指示
16：30～17：00	・現場撤収の指示
	・遺構図面・写真類の整理
17：00～17：15	・日誌類の記入

公益財団法人　埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108　埼玉県熊谷市船木台四丁目４番地１
（埼玉県文化財収蔵施設）
TEL　0493-39-3955（代）　FAX　0493-39-3579
Web　http://www.saimaibun.or.jp/



交通アクセス

JR 高崎線熊谷駅南口から
熊谷市ゆうゆうバス「ひまわり号」
船木台大境公園前　徒歩５分

JR 高崎線熊谷駅北口から
国際十王バス東松山駅行青山下車　徒歩 25 分

JR 吹上駅から車で 10 分

関越自動車道東松山 I.C から車で 15 分

勤務条件（令和４年４月１日）

［給与］

・初任給　　約 207,500 円（地域手当を含む）
※新規大卒者を基準とした額。一定の経歴がある場合、経歴に応じて加算。

・手当　　扶養手当（配偶者 6,500 円、子 10,000 円/人
特定年齢の子は 5,000 円/人を加算）
住居手当（28,000 円上限）
通勤手当（55,000 円上限）
期末・勤勉手当（年２回年間 4.3 月分）等

［勤務時間］

・勤務日　　月曜日から金曜日まで
（土曜・日曜・祝日休みの完全週休２日制）

・勤務時間　８時３０分から１７時１５分まで
（休憩時間１２時から１３時まで）

［休暇］

・年次休暇　年２０日（４月１日採用の場合は１５日）

・他の休暇　夏季休暇５日　結婚休暇７日
子育て休暇７日　家族看護休暇３日　等

人材育成

［研修］

文化庁・埼玉県による埋蔵文化財保護行政に関する講習　埼玉県による新規採用職員研修　学芸員研修　文化庁埋蔵文化財保護行政に関する講習　等

［資格取得］

ドローン、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者
有機溶剤作業主任者　等

［研究助成］

職員の自由な研究テーマや、業務に関わりのある調査に対し諸費用を助成

組織の概要

［設立日］　昭和５５年４月１日
［出資者］　埼玉県
［基本財産］　1,000 万円
［職員数］　４４名
［事務所］　埼玉県熊谷市船木台四丁目４番地１

組織の構成

理事長―常務理事
- 総　務　部―総務課（総務・財務）
  企画課（企画）
- 調　査　部―調査第一課（発掘調査）
  調査第二課（発掘調査）
  整理課（整理報告書刊行）
- 資料活用部―資料保存課（資料保存・普及活用）
  資料活用課（資料整理・普及活用）